

國學院大學學術情報リポジトリ

近代中国語会話書『清語会話案内』における“了”について

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2024-02-26 キーワード (Ja): “了”, 近代中国語会話書, 『清語会話案内』, 日中対照, 近代日本語 キーワード (En): 作成者: 金, 敬玲 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.57529/0002000096

近代中国語会話書『清語会話案内』における“了”について

金 敬玲

【キーワード】 “了” 近代中国語会話書 『清語会話案内』 日中対照 近代日本語

1. はじめに

近代中国語文法書である『日清語学金針』¹(1905)では“了”について以下のように解釈している。

了は、接尾語として動詞に添ひ、過去決定の意を成すこと本章第十一節示例の如し、又、唯語調を補ふために名詞等に添ふものあり、即ち本節示例の如きこれなり、

六十三頁

- ・「マシタ」者、過去之語助詞、即第二章第七節敬語之「マシタ」是也
- ・了は、接尾語として之を用ひ過去決定の意を成すこと本節示例のごとし、又唯語意を助け、語調を補うために用うることあり、本章第四節示例ごとし、

七十六頁

上述のように近代中国語文法書における“了”は二つの意味を持ち、「過去決定の意を成す接尾語」と「唯語意を助け、語調を補う」ためのものと解釈されている。

呂(1993)においても、“了”が2種類あるとし、“了1”は動詞の後ろに用い、動作の完了を表し、“了2”は文末に置き、事態に変化が起きたこと、あるいは今にも変化が起きることを認め、文を完結する働きを持つと説明している。

このように、1905年においても、1993年においても、文法書における“了”は2種類あることに異論はない。また、1905年における「過去之語助詞」と1993年における「動作の完了」は記述上概ね同じ解釈であると見られる。しかし、二つ目の“了”は「唯語意を助け、語調を補う」ための実意味のないものから「事態に変化が起きたこと、あるいは今にも変化が起きることを認め、文を完結する働きを持つ」実の意味があるものと解釈に変化が見られる。

¹ 馬紹蘭・杉房之助・謝介石(1905)『注釈日清語学金針』 日清語学会

高橋 (2017) では、運動の一局面を表す動態助詞“了₁”と、出来事の一局面を表す語気助詞“了₂”がどのような日本語と対応しているのかを分析するために実例を収集し、“了”に対応している日本語表現を示しているが、それらの“了”と各日本語表現とが対応している根拠については論じていない。

そこで、本稿では、近代中国語会話書『清語会話案内』における“了”が、どのような日本語表現と対応しているのかについて分析し、その根拠についても言及しながら、文法書の解釈では違いが見られる“了”の対応する日本語表現に違いがあるかについて考察したい。

2. 『清語会話案内』²について

近年、外国人である日本人により作成された近代中国語関係書は中国語及び中国語教育研究の資料としてだけでなく、日本語及び日本語教育研究の資料としてもその価値が評価されている。近代中国語関係書の日本語訳文を資料とした当為表現、可能表現など近代日本語における研究は見られるが、それを日中対照研究に用いた研究は管見の限りない。

本稿では、近代中国語会話書である『清語会話案内』を調査資料に出現する“了”を対象にし、分析する。

『清語会話案内』は、西島良爾が1900年7月に出版した中国語会話書で、北京官話教育の早期において、内容上も形式上も珍しく整えられた教科書であると言われ、後の教科書に継承された部分が多く、当時の北京語の実態をかなり忠実に反映しているため、相当の言語的価値も持っている(王2016)とされている。

『清語会話案内』は1900年7月に上巻が、11月に下巻が刊行されている。上巻は「単語」「散語」「抄話」、下巻は「単語」「続散語」「問答」「抄話」と付録「検字」により構成されている。上巻の「散語」と下巻の「問答」が助詞“了”における日中対照研究の対象としてふさわしく、本稿ではその中から助詞“了”を抽出し日中対照研究を試みる。

『清語会話案内』の上巻と下巻は共に国立国会図書館のデジタルコレクションで閲覧可能であり、調査にあたってはこれを使用した。

3. 本稿における“了”について

本稿では高橋(2017)における解釈を参考に、文中の動詞・形容詞の後に用いる動態助詞を“了₁”とし、文末の出来事の後に用いる語気助詞を“了₂”として分析を行う。

“了”は意味の特徴により、以下の例のようによく日本語の「シタ」「シテイタ」などと対応する。

i 刮风了 (風が吹き出した)

ii 我买了三张票 (私はチケットを3枚買った)

² 原文は繁体字や旧字体を用いるが、本稿においては簡体字や新字体に改める。

例文 i は“了”が文末に用いられ、「風」という自然現象の「発生」を表しているため、語気助詞の“了2”であり、例文 ii の“了”は動詞「買う」の後ろに用いられ動作の「完了」を助けているため動態助詞の“了1”と見做してよい。

本稿では、以上のように動作の完了を表す動詞の後ろにつく“了”を動態助詞“了1”とし、出来事の実現を表す文末に見られる“了”を語気助詞“了2”として分析を行い、5節では動態助詞“了1”を、6節では語気助詞“了2”を、7節では二つの“了”が同時に現れる場合を扱い、中国語の助詞“了”がどのような日本語表現と対応しているのか調査分析しながら、高橋（2017）と比較検討していく。

4. 『清語会話案内』における“了”の出現頻度について

『清語』³に見られる“了”を【表1】に示す。

【表1】 『清語』における“了”の出現頻度

項目	了1	了2	A了1B了2	その他	計
出現頻度	55	231	46	5	337

【表1】に示すように、計337例が見られる中、語気助詞の“了2”は231例と高い割合を占めている。

孟（2007、2008）では、話劇《方真珠》、《茶館》及び中国の10年分（1999年—2008年）の《政府工作報告》を研究対象として、“了1”と“了2”の分布状況を統計し、《政府工作報告》では“了2”が現れず、話劇では“了2”の出現頻度が“了1”を上回ったという結果を示している。

『清語』も「会話書」であり、例文のほとんどは日常的な会話場面に見られる。つまり、『清語』の会話場面において“了2”がより多く用いられることは、その傾向は近代でも現代でも同様であることがわかる。

「その他」について、“巧了(qiǎo le)”を以下のように「多分」に訳した例文が合計5例見られる。

①巧了他三下钟也就回来了（多分三時頃ニハ歸ルダロー）下六十二⁴

『中国語大辞典』⁵（1994）によると、“巧了”には二つの意味があり、その二つ目の意味に「たぶん」という解釈があり、固定表現にみられるため、本稿では分析対象から外す。

5. 『清語』における動態助詞“了1”について

『清語』に見られる“了1”と対応する日本語の表現形式を【表2】に示す。

³ 『清語会話案内』を指す、以下同様。

⁴ 「下六十二」の「下」は『清語会話案内』の下巻で、漢数字はページを示す。

⁵ 『中国語大辞典』（1994）では“巧了”を「①偶然、思いがけなく、折よく、うまいことに；②たぶん、もしかすると、あるいは、ひょっとする」と解釈している。

【表2】 『清語』において動態助詞“了1”と対応する日本語表現

“了1”と対応する日本語表現	出現頻度
(マシ)タ	21
順接仮定表現	6
逆接表現	6
V基本形	4
テ	4
テカラ	3
理由表現	3
命令表現	2
無対応	3
デシタ	1
テ居リマシタ	1
テ始メテ	1
計	55

「(マシ)タ」に訳した例文計21例が「動作の実現」を表す“了1”として使用されている。下記2例のように、「賊に会う」「蠍が手を刺す」という瞬間的な動作が「完了」した意味としての過去の意を表す“了1”である。

1) 道儿上碰见了贼(道デ賊ニ出逢タ)上七十六

2) 蝎子蛰了手(蝎ガ手ヲサシタ)上九十九

さらに、時間表現と共に用いられ「5日5夜吹いた風がやんだ(例文3)」「一回は読み終わった(例文4)」「2年間の外出が終わった(例文5)」のように瞬間的な動作の「完了」ではなく、持続する動作の持続期間が「終了」した意を表す例文が下記のように見られる。

3) 暴风刮了五天五夜(大風ガ五日五夜吹タ)上九十一

4) 从头至尾的看了一遍(頭カラ尾マデ一通リ見タ)上九十三

5) 是我出了二年外临走的时候儿实在是匆忙没得辞行去所以您不知道(ハイ私ハ二年地方へ行キマシタ出發ノ時マコトニ忙イ為メオイトマニモ出マセンデシタ其故ニアナタゴ承知ナイデス)下九十九

過去完了の意味を表わす「テ居リマシタ」「デシタ」との対応も下記のように2例見られる。

6) 我是家去了几天(私ハ家ニ回テ居リマシタ)下七十六

7) 就到了南京和镇江一带啊怎么您纳胡子都有白的咯(南京ヤ鎮江附近デシタ如何カシマシタアナタノ髭ハ皆白クナリマシタ)下九十九

『清語』に“了¹”と対応する「順接仮定表現⁶」は「(マン) タラ」「(ニナル) ト」「(ク) テハ」が見られる。

- 8) 熟透了才好吃 (熟スルトウマイ) 上八十四
9) 我想是白糖舔了一舌头原来是干净的白盐 (私ハ砂糖ト思テナメタラ元来之レハキレイナ塩デシタ) 上百二十二
10) 刚过了晌午天阴了⁷就下起雨来了 (晝(昼) 過ギニナルト空ガ陰テ来テ雨ガ降り出シタ) 上百三十七
11) 你也不用起誓现在你是少了多少银子不卖罢 (汝誓ヲ立テルニハ及バヌ汝ハ只今ノ處幾許ヨリ少クテハ売ラナイノカ) 下七十六

上記 4 例で見られるように、順接仮定表現と対応する動態助詞“了¹”が用いられた節⁷のあとにさらに節が続いている。“了”が「文が完結せず、後節が続く場合、前の状況があとの状況の仮定条件になる (呂 1993)」意を表せるためである。

また、「文が完結せず、後節が続く場合、前の動作が完了してから、あとの状況が発生すること (呂 1993)」の意も表わせるため日本語表現の「テカラ」と対応する例文も下記 2 例のように見られる。

- 12) 现在还不一定了等病好了再说罢 (只今マダキマリマセン病氣ガ癒テカラノ事デシヨウ) 上七十三
13) 等着明儿我告诉了家里再来 (明日私ガ家ノ人ニ話シテカラマタマイリマシヨウ) 上八十六

「テ始メテ」と対応する例文にもこのような使い方が見られる。

- 14) 总得等完了案才能开哪 (是非共此事件ガ終ルノヲ俟テ始メテ能ク開カレマス) 上八十三

その他、「文が完結せず、後節が続く場合、前の動作の発生と、あとの状況の発生が同時進行する⁸」場合、“了¹”と「テ」との対応が下記のように見られる。

- 15) 他一概推却了不收 (彼ハ皆退ケテ取ラナイ) 上八十四
16) 他借了我的衣裳去了 (彼ハ私ノ着物ヲ一兩日ト云フテ借テ行キマシタ) 上百十

さらに、「前の動作が完了できずに、あとの状況が発生してしまった場合」、あるいは「前の動作が完了したが、予測した状況が発生しなかった場合」には“了¹”と逆接表現との対

⁶ 三井 (2020) では「ば」「たら」「と」「なら」のほかに「ては」を「順接仮定表現」に加えることができると述べている。

⁷ 高橋 (2017) においては、「分文」という用語を用いて「節」を表している。

⁸ 呂 (1993) では、“了¹”の解釈について「文が完結せず、後節が続く場合。前の動作が完了してから、あとの状況が発生すること、あるいは前の状況があとの状況の仮定条件であることを表す」と述べており、本稿で述べている「文が完結せず、後節が続く場合、前の動作の発生と、あとの状況の発生が同時進行する」場合等その他の場合は呂 (1993) に基づいた筆者の分析である。

応が見られる。

- 17) 费了很大的力没成效 (沢山ノカラ費シタケレドモ成效シナイ) 上八十六
18) 怎么昨天我找了你两趟你都没在家⁹ (如何シタデス昨日私ハ汝ヲ二度尋ネマシタガ汝ハスベテ家ニ居ナイ) 上百二十六
19) 不论什么差使总得小心点儿万一丢失了什么实在是不能说不知道的(如何ナル役向ヲ論ゼズ是非注意シナケレバナラヌ萬一何ヲ失フテモ實ニ知ラヌト云フコトハ出来ヌ) 上百十五

「動作によってある結果が生じたことを表す」機能を持つ“了1”と理由表現との対応が以下のように見られる。

- 20) 昨儿个我拜年去整走了一天乏的我浑身都酸软了(昨日私ハ年禮ニ行テ一日歩行タカラ疲レテ私ノ身体ガグタグタニナツタ) 上百二十一

下記 2 例は中国語における理由表現の“因为…所以…”が同時に現れているため、“了”の役割が極めて弱まっているが、“了”にある「動作発生により生じた結果」の役割は否めない。

- 21) 因为接着家信说家母病了所以赶紧的回去了(郷里カラ手紙ガ来マシテ母ノ病氣ト云フコトデスカラ急ニ歸リマシタ) 上百二十九
22) 整整的写了两万字因为把脑袋低的工夫大了所以头昏脑闷的很难受(丁度二万字書タカラ頭ノ使ヒ方ガ過タ為メニ頭ガボンヤリシテタマラヌ) 上百三十三

なお、「結果のためにある動作をさせる」命令文にも使用されるため、命令表現との対応が見られる。

- 23) 浮头儿的撇了去(上側ハ吹き取レ) 上九十

「既に発生した事実に対する確認」において使用された“了1”は動詞基本形との対応が見られる。

- 24) 封严了口儿(口ヲ嚴封スル) 上七十七
25) 也伤了好些人(又沢山ノ人ヲ傷ケル) 上九十一

「無対応」とは例文 26) のように「たくさんお金を欠く」ことが「支払わぬ」という意味の訳になり、“了”と対応する日本語表現が見られないものを指す。

- 26) 欠了许多的账(沢山ノ掛ヲ支拂ハヌ) 上七十八

また、下記例文のように会話の回答部分に現れ、日本語訳文に動詞句が省略されているがゆえに、回答文における“了”との対応表現が日本語訳文にはないと判断する例文も「無対応」と見做す。

⁹ 例文 23) と例文 24) は同じ文の異なる日本語訳文で上巻と下巻のそれぞれに見られる。

27)Q 是买了什么贼脏了(ソレハ如何ナ賊物ヲ買タノデス)下八十三

A 是买了一个金表一卦朝珠(ソレハ一個ノ金時計ト一掛ノ珠数デス)下八十三

28)Q 开了个什么铺子(何商店ヲ開キマシタカ)下九十四

A 开了个杂货铺(雜貨店デス)下九十四

このように、『清語』における動態助詞“了₁”については、文末の動詞のすぐ後に用いられる場合と、後続する節がある場合と、その他の場合と、大きく三つのパターンが見られる。文末の動詞のすぐ後に用いられる場合、過去の標識である「タ」との対応が明確であり、後続する節がある場合、“了”の前の節と後ろの節の意味関係により五種類の接続表現との対応が観察される。

高橋(2017)では、文や最後の分文¹⁰の文中に用いられる場合と分文のあとにさらに分文が続く場合との二つのパターンに分けて動態助詞“了₁”を分析している。「タ」との対応に関しては本稿と同じ意見が見られ、節と節との関係による“了₁”の働きに関しては理由表現「タカラ」、出来事の前後関係を表す「テカラ」との対応について言及されていないが、節と節との関係を表す日本語の各接続表現と対応するのは“了”であるという立場は本稿と同様である。

しかし、「動態助詞“了”は前の語句の影響を受けていることが明白である(高橋 2017)」という分析結果に関して、本稿における分析とは異なる傾向が見られる。『清語』における動態助詞“了₁”は、動詞と“了”の関係、節と節との関係が比較的明確であるため、日本語表現との対応の判断も躊躇なく行える。

6. 『清語』における語気助詞“了₂”について

劉(2010)では語気助詞“了₂”は近代中国語における語尾“了也(1e yè)”の「合音(二字の音が連続され一つの音になること)」から成るものと述べている。

語気助詞“了₂”は文末と前の分文末¹¹との両方用いられる。本節では語気助詞“了₂”について分文末と文末との二つの状況に分けて分析する。まず、『清語』における“了₂”の出現頻度を【表3】に示す。

【表3】 語気助詞“了₂”の文中位置状況

項目	分文末の“了 ₂ ”	文末の“了 ₂ ”	計
出現頻度	72	159	231

6.1 文末の“了₂”と対応する日本語表現について

文末の“了₂”に対応する日本語表現を【表4】に示す。

¹⁰ 「節」のことを指していると考えられる。

¹¹ 高橋(2017)で用いられる用語であり、前の節の最後に用いられる場合を指している。

【表 4】 『清語』において文末の“了 2”と対応する日本語表現

文末の“了 2”と対応する日本語表現	出現頻度
(マシ) タ	60
否定表現との共起による無対応	35
デス (ダ)	19
“了” の特殊表現	18
V 基本形/Vマス形	9
ニナル/ニナリマス	3
マシヨウ	3
テアリマス	2
デシタ	2
デシヨウ	2
シテ居ル/テ居リマス	2
オ～デシタ	1
タカラ	1
ニナリマシタ	1
テシマツタ	1
計	159

「(マシ) タ」と対応する文末に用いられる“了 2”は 60 例見られる。これらの“了 2”は出来事の実現、あるいは事態の変化を表している。

29) 他出門了 (彼ハ外出シタ) 上六十八

30) 太阳平西了 (太陽ガ西ニ入りマシタ) 上七十一

31) 因为接着家信说家母病了所以赶紧的回去了 (郷里カラ手紙ガ来マシテ母ノ病氣ト云フコトデスカラ急ニ歸リマシタ) 上百二十九

32) 这几天写字很多不但指头疼连胳膊都肿了 (此二三日ハ字ヲ書クコトガマコトニ多ク指バカリテナク腕マデハレタ) 上百三十九

上記 4 例のように「外出した」「西に入りました」「帰りました」「はれた」という事態が発生し、その事態発生による影響が発話時の現在までに及ぼしている。動態助詞“了 1”が表す「完了」は発話の時にはその動作が完了し、「完了」の一瞬に注目したもので、語気助詞“了 2”はこのように出来事の発生により影響が生じ、その影響が発話時にも残っている。三宅(2010)でも、「“了 2”は既に発生した出来事の影響が発話時の現在も残っていることが表せる」と述べている。

また、「ニナリマシタ」「テシマツタ」「オ～デシタ」「デシタ」の「タ類」が以下の例文のように見られる。

- 33) 他又上各省瞧风俗去了他更是老江湖了 (此何年各省へ行テ風俗ヲ見マシタカラ尚更世間師ニナリマシタ) 上百十
- 34) 打的厉害了就躺下了 (ヒドク打タラ坐ツテシマツタ) 上百三十七
- 35) 我没见他他来的时候我出门了 (私ハアヒマセン彼ノ来タ時ニ私ハ留守デシタ) 下六十八
- 36) 是买古玩玉器去了么 (骨董玉器ヲ買ヒニオ出デシタカ) 下七十八

「出来事の発生による影響」が今まで続いていることで、「テアリマス」「テイル/テオル」との対応が下記のように見られる。

- 37) 他现在是出外去了 (彼ハ只今外省へ出テ居リマス) 下六十八
- 38) 都给您预备好了 (皆用意シテアリマス) 上百三十一

「変化」に注目し日本語の「ニナル/ニナリマス」と対応した例文が以下のように見られる。

- 39) 他是谁家的妞儿今年是多岁数儿了 (彼ハ誰レノ娘デス今年何歳ニナリマスカ) 上百四
- 40) 自然说着就顺了 (自然ト話シ方ガ上手ニナル) 上百三十二

「デス/ダ」との対応が 19 例見られるが、これらの例文も変化が生じてその影響に注目したように見える。

- 41) 你忙什么了 (アナタハ何ガ忙イデスカ) 下六十六
- 42) 我七岁了 (私七歳デス) 下八十八

例文 41) は忙しくなって今も忙しいのが続いていることに注目しており、42) は七歳になった瞬間ではなく、八歳になるまでのその間に注目した言い方であると解釈できる。

「V 基本形」及び「V マス形」と対応する“了 2”は二つの意味を示している。

- 43) 到老了气血衰了 (年老テハ血氣ガ衰ヘル) 上九十一
- 44) 铁裤子里放屁三年还要臭出来了呢 (鐵ズボンへ放屁シタ三年過テモマダ臭ミガ出テクル) 上百二十二
- 45) 这儿也漏了那儿也湿了 (此處ハ漏リ彼處ハ湿メル) 上百三十六

上記例文における“了 2”は過去に発生した事に対する話し手の確認に見られ、下記の例文 46) は未来発生可能な事に対する仮定である。“了 2”のこの二つの意味は共に日本語の「V 基本形/マス形」と対応している。

- 46) 叫人誊写我怕是给抄错了 (人ニ寫サセルト寫シ違フニコマル) 上九十三

“要、別、就、也就、把”とともに用い、これらの表現の影響をうけ、“了”のみについて語ることが難しくなる例文を本稿では「“了”の特殊表現」とする。

“要”とともに「ナケレバナラナイ」との対応が見られる。

- 47) 房子要修盖了 (家ヲ修繕シナケレバナラナイ) 上七十五

“別”とともに「禁止命令」との対応が見られる。

48) 别耽误工夫了(時間ヲ浪費スルナ)上八十一

“就”とともに用いるものが最も多く見られ「最低限度」を表す表現との対応が見られる。

49) 有一半儿就够了(半分デ足リル)上九十四

“也就”とともに「ダロー」との対応が見られる。

50) 现在才一点多钟赶你打后门回来去回信高老爷也就回来了(只今漸く一時過ダカラ汝ガ後門カラ歸テ来テ返事ヲ取タナラ高旦那モ亦タ歸テ来ルダロー)下六十三

“把”とともに命令表現との対応が見られる。

51) 你们可想着把分量邀准了(汝等承知デハアローガ分量ハ正シク掛ケテ来テ呉レ)下六十三

このように、前に現れる語句の影響を強く受けるのは語気助“了2”の特徴ともいえる。

「否定表現との共起による無対応」が文末に用いられる“了2”に多く見られるのは前の語句に現れる否定表現“不、没”の影響により日本語訳文が否定文になっていることで“了2”との対応表現が見られないためである。

52) 还没定规了(マダキマリマセン)下六十八

53) 今儿不是月底了ム(今日ハ月末デハアリマセンカ)下六十八

前の語句の影響を受けていると考えられる例文はその他にもある。

前の“买定”と共に現れ、「必ず買う」という意志を表す「マシヨウ」との対応が見られ(例文 54)、“可谓”の影響を受け感嘆の「デシヨウ」との対応が見られる(例文 55)。

54) 你既然这么说我们凭这一句话买定了(汝既ニ左様言フナラバ私等ハ此言葉ヲ信ジテ買ヒマシヨウ)上九十七

55) 虽是玩意儿却有深意可谓有益之戏了(遊ビデハアルケレドモ又深イ意味ノアル所デス有益ノ戯デシヨウ)上三十四

また、前だけではなく、後の語句の影響を受け、“呢”と共に現れ推量の「マシヨウ」との対応(例文 56)と“罢”と共に現れ確認の「デシヨウ」との対応(例文 57)が見られる。

56) 那么他得多咱才能忙完了呢(然ラバ彼ノ忙イノハ何時ニナツタラ終リマシヨウ)下八十一

57) 是么我倒不很理会现在少爷们都长起来了罢(左様デスカ私ハ格別ニモ思ヒマセン只今若様方ハ皆ゴ成長デシヨウナ)下九十九

固定表現に訳した例文が以下のように見られる。

58) 恭喜了(御目出度)上七十五

59) 是了(承知致シマシタ)下六十三

「タカラ」との対応が1例倒置文に見られる。

60) 你快家去罢外头刮风了(汝家ニ歸ナサイ外ハ風ガ吹テ来タカラ)下八十八

「風が吹き出したから」という理由を表す分文が倒置され、後ろに移されたものである。

『清語』の文末に用いられる語気助詞“了2”を見ると、出来事の発生、発生による変化、その変化が起こす影響のように、注目する重点の違いにより対応する日本語表現も変わることがわかる。また、動態助詞“了1”と異なり、“了”自体が意味を持つというより、前後に現れる語句の影響を強く受ける点が明確である。“了2”におけるこの分析結果は高橋(2017)と同じ意見が見られる。

6.2 分文末の“了2”と対応する日本語表現について

分文末の“了2”に対応する日本語表現を【表5】に示す。

【表5】 『清語』において分文末の“了2”と対応する日本語表現

分文末の“了2”と対応する日本語訳表現	出現頻度
否定表現との共起による無対応	13
(マシ)タ	12
理由表現	11
Vテ (Vリ、adj.ク)	7
デス(ダ)	6
逆接表現	6
“了”の特殊表現	4
順接仮定表現	4
V基本形/Vマス形	3
テ来テ	1
ニナリマスル	1
オ～デス	1
シタデス	1
テシマツタ	1
デシタ	1
計	72

分文末に見られる語気助詞“了2”は文末に用いられる助詞に対して数は少ないが、対応する日本語表現は多い。これは、『清語』で見られる分文末“了2”の日本語訳が体系的ではないためか、それとも文末に用いられる“了2”と同様前後の語句の影響を強く受けるためか、定かではない。

さらに、分文末に用いられる“了2”の用法に関しては文末に用いられる“了2”と同じ

用法のみならず、動態助詞“了1との用法とも重なる部分があり、独自の特徴というものは見られない。分文末に用いられる“了2”に関してはその他の方法を探り、なお追究の余地があると考えられるが、本稿では割愛する。

7. 『清語』における「A了1B了2」について

『清語』に見られる「A了1B了2」と対応する日本語の表現形式を【表6】に示す。

【表6】 『清語』において「A了1B了2」と対応する日本語表現

「A了1B了2」と対応する日本語表現	出現頻度
(マシ) タ	33
無対応	4
理由表現	3
V基本形	2
Vマス形	2
テ居ル	1
マセンデシタガ	1
計	46

「A了1B了2」とは元である「AB」が一つの動詞句となり、その動詞Aの後ろに動態助詞“了1”を付け、さらに目的語Bの後ろに語気助詞“了2”を付け成した表現である。動作も「完了」して、事態にも「変化」があったことを表すために用いられる。

iii 我已经写了回信了 (私はもう返信を書いてしまった)

例文iiiのように、「写回信 (返信を書く)」が元の動詞句で動詞「写 (書く)」に動態助詞“了1”を付け、「書く」という動作の「完了」と目的語 (本当は句末) の「回信 (返信)」に語気助詞“了2”を付けることで、「写回信 (返信を書く)」という事態が「変化 (完了)」したことを表している。これは、動詞の動作の完了、事態の完了一完了を強調したい場合によく用いられ、二つの“了”に挟まれる語句が強調される場合もある。

「(マシ) タ」と対応する「A了1B了2」を見ると、33例が下記の2例のように文の最後に用いられている。

61) 他有了气了 (彼ハ怒ツタ) 上六十九

62) 这架钟怎么站住了啊我忘了上弦了 (此掛時計ハドウシテ止マツタデスア一私ガ鍵ヲカケルヲ忘レマシタ) 上百十五

このように、二つの“了”に挟まれているBが再分節不可の場合にはABの完了及び事態の変化が強調される傾向が見られ、下記の例文のようにBがさらに分節可能な場合強調されるのはABではなくBの方である。

63) 有个贼偷了我的衣裳了 (一人ノ賊カ私ノ衣服ヲ盗ミマシタ) 上八十二

64) 这件事日子大多我们那个朋友催了我好几回来了 (此事ハ日モ大分掛テ居 (イ) ルカラ私共ノ朋友ガ何度カ私ニ催促ニ来マシタ) 下六十八

上記例文 63) は「私の衣裳」が盗まれたことが強調され、例文 64) は「何回も」催促に来たことが強調されている。

高橋 (2017) では、B が分節可能かどうかについて言及されず、「A 了 1 B 了 2」において、挟まれている語句 (B) が強調されているとまとめている。

また、下記例文のように文の最後ではなく、前の分文末に用いられ、「タ」との対応が見られる。

65) 你怎么这么咳嗽着凉了么总得小心点儿 (汝ドウシテコンナニ咳嗽ガ出マスカ風ヲ引タノデスカ氣ヲ付ケナサイ) 上百十四

この例文は、前の節が「風邪を引いたのか」という疑問文で、相手の答えを待たず、話し手が推測した「多分引いた」結果に基づいて後の「気を付けなさい」という指示を下したため、二つの節の直接関係が弱い。「A 了 1 B 了 2」が前の節に見られる例文は少ないが、前の節によりある結果が生じ、理由表現と対応する例が下記のように見られる。

66) 因为打了官司了得暂且关几天就是买了贼赃了叫贼板出来了 (訴訟ガ起タカラ暫ク閉ジナケレバナラナイソレハ賊物ヲ買タ為メニ賊カラ白状サレタノデス) 上百三十二

67) 是因为买了贼赃了叫贼板出来了 (ソレハ賊物ヲ買タ為ニ賊カラ白状サレタノデス) 下八十三

中国語における理由表現“因为”との共起が見られるが、「打官司 (訴訟が起きる)」が「発生」したから、また、「买贼赃 (賊品を買う)」が「発生」したから後の結果が生じたとの理由になったのは違いない。なお、下記例文のように、前の節が理由になっているものの、日本語訳文に理由表現がなく、後の節の能願動詞“要”においても日本語訳文に対応する表現が見られず、日本語訳文だけでは意味理解の難しい文になっている。

68) 这个庙坍塌了好几年了今年那个老和尚要募化重修哪 (此寺ハ永ク壊レテ居ル今年アノ老和尚ガ寄付ヲ募テ修復スル) 上百三十八

また、下記 2 例も中国語例文は「過去発生」を表し、過去発生のことについての確認との意は見られず、日本語訳文に正確な意味が伝わっていない。

69) 发了大财了 (大金ヲ儲ケル) 上七十二

70) 叫人笑断了肚子了 (人ヲシテ笑ハシテ腹ワタヲユラセル) 上九十六

前の節に使用され、後の節を引き出す役割をする「～マセンデシタガ」との対応が 1 例見られる。

71) 那儿的话呢您过奖了可是我还忘了请教了您是上那去的 (恐れ入リマシタオ賞メ過デス然シ私ハマダ伺ヒマセンデシタガアナタハ何處ヘオ出ニナリマスカ) 上百二五

「聞き忘れた」を「伺いませんでした」に訳し、さらに後節を引き出すための「が」を加

え“了”と対応したと考えられる。

下記例文のように「Vマス」との対応と考えられる例文が2例見られるが、これに関しては“有”の働きに影響されている使い方に見える。“有+時間表現”で時間的な量がどのくらいになるかという状態を表す用法(『中国語辞典』(2002))になり、これも前後に現れる語句の影響と見做す。

72)Q 在通州住了有几年了(通州ニ何年程住ヒマスカ) 下七十六

73)A 住了有七八年了(七八年住ヒマス) 下七十六

「無対応」が下記のように2例見られ、「走了水了」は意味のまま「火事がある」と訳し、「长了身量儿了」は身体「ばかり」成長したと強調しているが、この日本語訳は“竟”の影響を強く受けていると見られる。

74)前门大街走了水了(前門大通リニ火事ガ在ル) 上百十二

75)暖长是长了也都是竟长了身量儿了什么都还不会(アイ成人ハ成人デスガ皆只身體バカリデ何ニモ出来マセン) 下九十九

このように『清語』における「A了1B了2」はそれが最後の文末に使用される場合は安定した日本語表現との対応が見られるが、前の分文末に使用される場合においては“了2”と同様、日本語表現との対応が明確ではない例も見られるようである。

また、“了”を用いた例文が337例ある中、「A了1B了2」が46例のみ見られるのはこれが「かなり特殊な文であり、そうたくさんあるわけではない(高橋2017)」ためであると言えよう。

8. まとめと今後の課題

本稿では、助詞“了”について、近代中国語会話書『清語会話案内』に出現する“了”を高橋(2017)と比較しながら分析した。

『清語』における動態助詞“了1”に関しては、大きく三つのパターンが見られており、文末の動詞のすぐ後に用いられる場合、過去の標識である「タ」との対応が明確であり、後続する節がある場合、“了”の前の節と後の節の意味関係により五種類の接続表現との対応が観察される。高橋(2017)では、文や最後の分文の文中に用いられる場合と分文のあとにさらに分文が続く場合との二つのパターンに分けて動態助詞“了1”を分析している。

「タ」との対応に関しては本稿と同じ意見が見られ、節と節との関係による“了1”の働きに関しては理由表現「タカラ」、出来事の前後関係を表す「テカラ」との対応について言及されていないが、節と節との関係を表す日本語の各接続表現と対応するのは“了”であるという立場は本稿と同様である。

しかし、“了”は前の語句の影響を受けていることが明白である(高橋2017)」という結果について、『清語』における語気助詞“了2”はその傾向が見られるが、動態助詞“了1”

には適応しない。また、「出来事の発生により影響が生じ、その影響が発話時にも残っている」という“了₂”の働きについては、三宅(2010)と同じ傾向が見られる。

二つの“了”が同時に現れる「A了1B了2」に関しては特殊な文で数が少ないという点は『清語』も高橋(2017)も同様であるが、『清語』において、それが前の節に用いられる場合、高橋(2017)と異なり¹²、前の節に用いられる“了₂”と同様なお追究の余地があるようである。

このような違いが見られたのは、高橋(2017)の“了”の多様な意味を解釈するために例文を収集したのと異なり、本稿では『清語』に現れるすべての“了”の解釈に試みたためだと考えられる。特に、語気助詞“了₂”には未だ解釈されていない意味用法もあると考えられ、より多くの用例を用いて帰納していく必要があるが、これについては今後の課題にしたい。

調査資料

西島良爾(1900)『清語会話案内』上巻 青木嵩山堂

<https://dl.ndl.go.jp/ja/pid/869375/1/1>

西島良爾(1900)『清語会話案内』下巻 青木嵩山堂

<https://dl.ndl.go.jp/ja/pid/869376/1/1>

参考文献

日本語文献

伊地知善継(2002)『中国語辞典』白水社

王 雪(2016)「北京官話教科書『清語会話案内』の成立過程及びその言語の一考察」14『東アジア研究』山口大学大学院東アジア研究科

高橋弥守彦(2017)『中日対照言語学概論—その発想と表現—』日本僑報社

大東文化大学中国語大辞典編纂室(1994)『中国語大辞典』角川書店

馬 紹蘭・杉房之助・謝 介石(1905)『註釈日清語学金針』日清語学会

三宅登之(2010)「“了₁”と“了₂”の相違点とその認知的解釈」『中国語教育』第8号

三井はるみ(2020)「条件表現の全国分布に見られる経年変化—認識的条件文の場合—」『國學院雑誌』第121巻第2号

呂 叔湘(1993)『中国語文法用例辞典—《現代漢語八百詞増訂本》日本語版』東方書店
中国語文献

刘 勛宁(2010)〈一个“了”的教学方案〉《中国語教育》第八号

呂 叔湘(2008)《現代漢語八百詞(増訂本)》商務印書館

孟 子敏(2007)〈从“了₁”、“了₂”での分布看口语和书面語的分野〉松山大学言語・情報セ

¹² 高橋(2017)では、「A了1B了2」が前の節に用いられる場合「シテキタ」「シテイタ」とのみ対応されている。

ンター叢書 第4巻《漢語書面語の通時的・共時的的研究》松山大学総合研究所
孟子敏(2008)〈“了₁”、“了₂”在不同語体中の分布〉《現代漢語虛詞研究與對外漢語教學》
復旦大學出版社

—國學院大學大学院博士課程後期—